

登録コード	TSX21500	開講年度	2026			
授業科目	建築構造設計インターンシップ				担当教員	遠藤 洋平
英文授業名	Internship of Structural Design				副担当	諏訪田 晴彦・松田 昌洋
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】
	2 6TSカリ, 2 5TSカリ, 2 4TSカリ, 2 3TSカリ					
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				⇔	To have practical experiences as an architect and engineer
(2)授業の概要	建築構造設計事務所（事務所登録された、一級建築士事務所）に約4週間（160時間）通い、一級建築士指導のもと、構造設計の実践の場においてその補助作業を行う。事務所の選定にあたっては担当教員がインターンシップを推薦する事務所名簿を作成しそれを基準としながら、学生と相談のうえ決定する。インターンシップは大学での講義とは違い、社会人としての技術の実践の場である。その意味で単なる知識ではなくそれらを活かす技能を習得する。具体的には構造設計事務所の役割、倫理観、法対応、設計者対応、クライアント対応、構造計算書の作り方等を、間接的にではあるが習得する。					
(3)授業計画	インターンシップ担当企業に下記の内容の中から2つ程度までは習得できるように関連作業への従事をお願いする。 ①構造設計の進め方について ②設計事務所との打ち合わせなどに必要な構造モデル、模型、必要な書類、図面づくり ③構造計算書の作成に必要なデータや諸条件の整理 ④構造計算書の元となる構造計算プログラムを用いた入力 ⑤構造に関わる特記仕様書の作成 第1日目 構造計算書作成の要点（建物概要）（8時間） 第2日目 構造計算書作成の要点（荷重外力）（8時間） 第3日目 構造計算書作成の要点（応力計算）（8時間） 第4日目 構造計算書作成の要点（断面算定）（8時間） 第5日目 構造計算書作成の要点（基礎杭等の検討）（8時間） 第6日目 構造計算書作成の要点（使用上の支障に関する検討）（8時間） 第7日目 構造計算書作成の要点（層間変形角、剛性率、偏心率等）（8時間） 第8日目 構造計算書作成の要点（保有水平耐力）（8時間） 第9日目 構造計算書作成の要点（屋根ふき材等の検討）（8時間） 第10日目 構造計算書作成の事例（構造計算概要書）（8時間） 第11日目 構造計算書作成の事例（仮定荷重）（8時間） 第12日目 構造計算書作成の事例（2次部材の検討）（8時間） 第13日目 構造計算書作成の事例（基礎の検討）（8時間） 第14日目 構造計算書作成の事例（一貫構造計算プログラム）（8時間） 第15日目 構造計算書作成の事例（チェックリスト）（8時間） 第16日目 構造計算書作成の事例（電算出力の確認）（8時間） 第17日目 構造計算書作成の知識（構造伏図）（8時間） 第18日目 構造計算書作成の知識（構造骨組図）（8時間） 第19日目 構造計算書作成の知識（構造模型）（8時間） 第20日目 構造計算書作成の知識（総合所見）（8時間）					
(4)成績評価の方法	事務所の担当者から仕事を提示してもらい、その作業状態を評価頂く。					
(5)成績評価の基準	上記に従う					
(6)事前事後学習の内容	特になし					
(7)履修上の注意	特になし					
(8)質問,相談への対応						
(9)その他	特になし					
【教科書】	使用しない。					
【参考書】	なし					